

平成28年度姉妹都市（霧島市）青少年交流事業

☆霧島市への訪問研修

260年前の薩摩藩の宝暦治水工事の縁により姉妹都市盟約を結んでいる鹿児島県霧島市との青少年交流で、5月24日（火）から26日（木）までの3日間、海津市の中高生が霧島市を訪問しました。2泊3日のホームステイによる交流となる初日の24日、天孫降臨神話のある霧島神宮を見学した後、霧島市役所国分庁舎で受入先の霧島市の中高生との対面式があり、1人1人自己紹介をしました。その夜の歓迎夕食会では、これからお世話になる霧島市の生徒やホストファミリーと楽しく歓談しました。海津市の生徒たちは霧島市の生徒の家庭にホームステイしながら、25日には訪問研修の1つの目的である薩摩義士頌徳慰霊祭に参列しました。また、午後からは、市町村合併により海津市と霧島市になって新たに姉妹都市盟約を結んで10年となることから姉妹都市盟約10周年記念式典が行われました。式典では、両市の生徒代表が友好の絆が次世代へ引き継がれるようにと未来へメッセージを送りました。26日には桜島フェリーに乗船し、海の上から桜島を見ました。

研修期間中、両市の生徒たちはすぐに打ち解けあい、お別れの際は、握手をしたり、写真を何枚も撮ったりと最後まで別れを惜しんでいました。

薩摩の歴史や文化・自然を学びながら、薩摩義士の偉業に対する感謝の心を改めて認識し、生徒たちにとって大変有意義な3日間になりました。

出発式



対面式



歓迎会で歌を披露



薩摩義士碑



薩摩義士頌徳慰霊祭



姉妹都市盟約10周年
記念式典



☆霧島市からの受入研修

鹿児島県霧島市との姉妹都市青少年交流で、8月17日（水）から19日（金）までの3日間、霧島市の中高生が海津市を訪問しました。5月の霧島市への訪問研修と同様に、2泊3日のホームステイによる交流となる初日の17日、霧島市訪問団は宝暦治水工事に関わった薩摩義士が祀られている海蔵寺（三重県桑名市）の参拝、海津市が一望できる行基寺の見学に行きました。その後、文化センターで市長表敬訪問と歓迎会が行われ、両市の生徒たちは約3ヶ月ぶりに再会しました。霧島市の生徒たちは5月でペアになっていた海津市の生徒の家庭にホームステイしながら、18日には両市生徒全員で郡上市に行き、食品サンプル作りの体験、大滝鍾乳洞の見学をしました。大滝鍾乳洞では、制服姿のままマスのつかみ取りをする姿が印象的でした。19日には千代保稲荷神社の散策、木曽三川公園展望タワーの見学をし交流を深めました。

中部国際空港での見送りには、海津市の生徒たちも同行し、お別れの際は、霧島市への訪問研修と同様に握手をしたり、写真を何枚も撮り合ったりと、最後まで別れを惜しんでいました。

霧島市の子どもたちは、海津市での研修をとおして自分たちの祖先である薩摩義士の偉業を実感し、また両市の子どもたちはホームステイや行動を共にすることで、5月の訪問研修での友好を今回の研修でさらに深めることができました。

海蔵寺



行基寺



歓迎会



食品サンプル作り



大滝鍾乳洞で
マスのつかみ取り



最後にみんなで記念撮影

